

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所
第 19 回理事会 議事録（概要版）

日 時：平成 28 年 1 月 28 日（木）13：30～15：15

場 所：大阪府立産業技術総合研究所 5F 特別会議室
和泉市あゆみ野 2 丁目 7 番 1 号

出席者：古寺理事長、沢村副理事長、赤井理事（技術担当）、植村監事、小島監事
藤田経営企画室長、山口顧客サービス室長、米田マネージャー兼総務課長、
浅尾経営戦略課長、
（事務局）経営戦略課職員、総務課職員

議 事：

1. 開会

理事長あいさつ

2. 審議事項

(1) 財務諸表等について

第 3 四半期の財務諸表および支出・収入状況について審議され、原案のとおり承認された。

(2) 平成 28 年度予算の重点項目について

平成 28 年度予算（案）の重点項目について審議され、原案のとおり承認された。

(3) 皮革試験所の機能移転について

皮革試験所の和泉本所への機能移転について審議され、原案のとおり承認された。

(4) 北側用地について

北側用地の府への返納手続きについて審議され、原案のとおり承認された。

(5) 次期計画について

第二期中期目標案および第二期中期計画案について審議され、原案のとおり承認された。

(主な意見)

- ・中期計画が延長する場合でも、現在の目標のままでは十分でないと思われる。二期の「質」に関する目標の取入れを打ち出すなど、今の計画をより進歩させるために変えるべき。
- ・土壌汚染が見つかった場合、その対策は金額が大きくなる可能性もあるので、決算書に今後の費用が発生することを情報開示すべき。
- ・土壌汚染調査結果の速報値の報告時期を、業務実施計画表に明示させること。
- ・北側用地の返納について、府との協議とは別に、和泉市の都市計画法令の手続きや返還区域の特定などをいつやるのか明確にしてほしい。
- ・次期計画において、研究で企業を支援するときに、研究側が興味を持つ事柄と、企業が実際に活用できる技術をマッチングしていく努力が必要。これをどのように目標や計画で表現していくのが重要。
- ・今後、計画や目標を一步落とし込んで文章化し、情報を整理して対外的に示すことが必要。
- ・金融機関連携での融資制度を使った企業が倒産し、銀行が回収できない場合、企業を紹介した道義的な問題が残る危惧がある。また、融資を受けるために産技研が利用されないような手立てを講じてほしい。

3. 報告事項

以下の4点について報告し、了承された。

- (1) 数値目標達成状況について
- (2) プロジェクト研究成果報告会の開催について
- (3) 職員採用選考の実施状況について
- (4) 組織再編の状況について

(主な意見)

- ・技術サポートセンターの設置により、担当者不在をなくすというのはいいこと。ぜひいい成果を出してほしい。

4. その他

- (1) 今後の予定等について
都産技研との共催セミナーや府政学習会等今後の予定について報告をした。